

# 議 会 だ よ り 第 110 号

群馬県昭和村議会

令和5年4月15日 3月定例会

マスクなしの  
笑顔の卒業式

## Contents

2~3

令和5年度予算

4~7

3月定例会

8~9

全協・トピックス

10~11

各常任委員会

12~17

村の姿勢を問う

18~19

村内企業の声

# 8,800万円 (前年度比3.7%減)

## 無料化拡大

月からは新庁舎での業務がスタートします。限られた財源を有に、小学校統合校舎建築基本構想策定事業、ワクチン接種助成等に取り組むことを承認した。

### 歳入

#### 自主財源

村が独自に確保できるお金。繰入金、村税など。

#### 繰入金

基金を取りくずして繰り入れるお金。

#### 村税

村民税や固定資産税、軽自動車税など。

#### 依存財源

国や県の判断により割り当てられるお金。地方交付税や村債など。

#### 地方交付税

ある一定の基準で国が市町村に支給するお金。

#### 地方譲与税

国税として徴収したものを、市町村に対して譲与するお金。

#### 国庫支出金

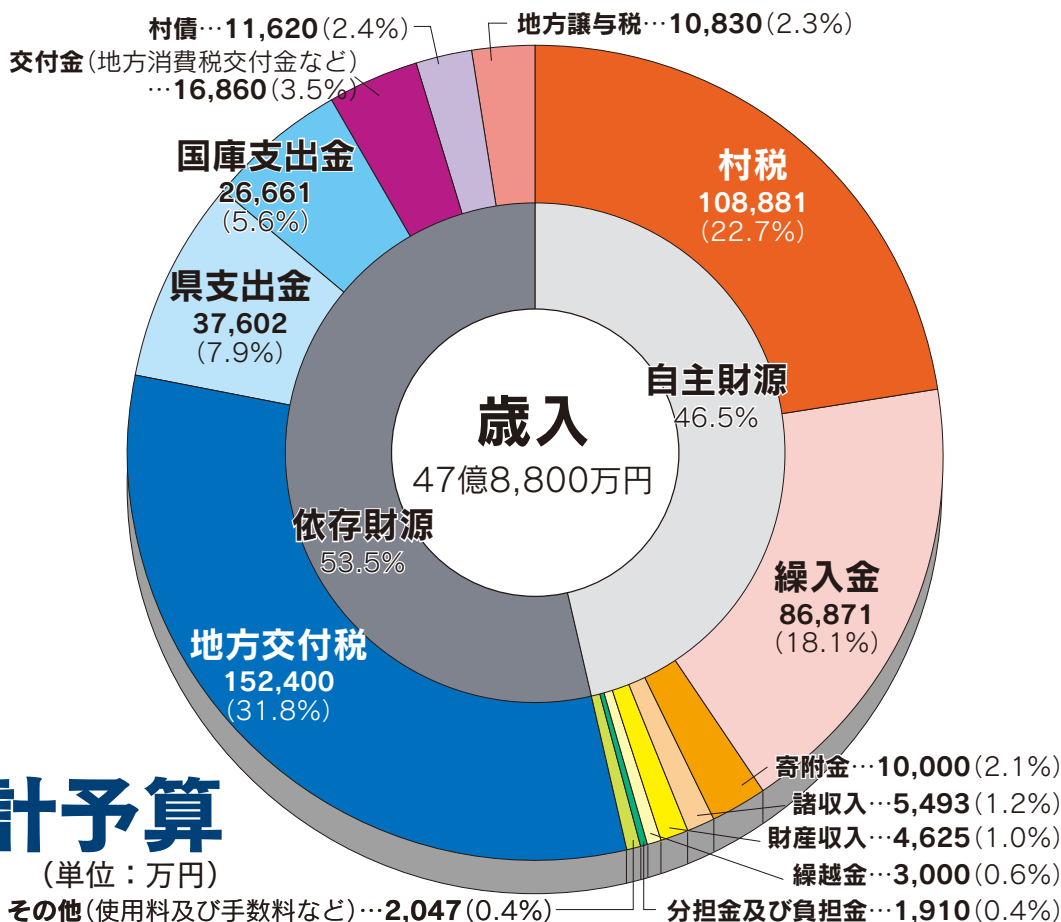
国から市町村へ特定の事業に対して支給されるお金。

#### 県支出金

県から市町村へ特定の事業に対して支給されるお金。

#### 村債

事業を行うために村が借入れるお金。



## 計予算

(単位：万円)

その他 (使用料及び手数料など) … 2,047 (0.4%)

### 特別会計予算

(前年度比2.2%増)

## 総額 27億1,890万円

国民健康保険特別会計	12億4,086万円
簡易水道事業特別会計	1億8,002万円
農業集落排水事業特別会計	3億5,418万円
介護保険特別会計 (65歳以上)	8億4,326万円
後期高齢者医療特別会計 (75歳以上)	1億58万円

# 令和5年度 予算

# 予算総額 47億

## 18歳まで医療費

コロナ禍前の従来の生活に戻れることが期待される中、5効に活用し、将来を見据えた持続可能な行財政運営を前提（ムンプス・带状疱疹）・「旬菜館」増改築・防犯カメラ配布

### 歳出

#### 議会費

村議会運営の経費や議員報酬など。

#### 総務費

人件費や事務費、微税費、戸籍費、選挙費など。

#### 民生費

社会福祉費や児童福祉費、老人福祉費など。

#### 衛生費

ワクチン接種費や保健事業、ゴミ処理のための経費など。

#### 農林水産業費

農林業の振興や鳥獣害対策、土地改良事業などの経費。

#### 土木費

村道や橋梁の整備、砂防工事、除雪費用など。

#### 消防費

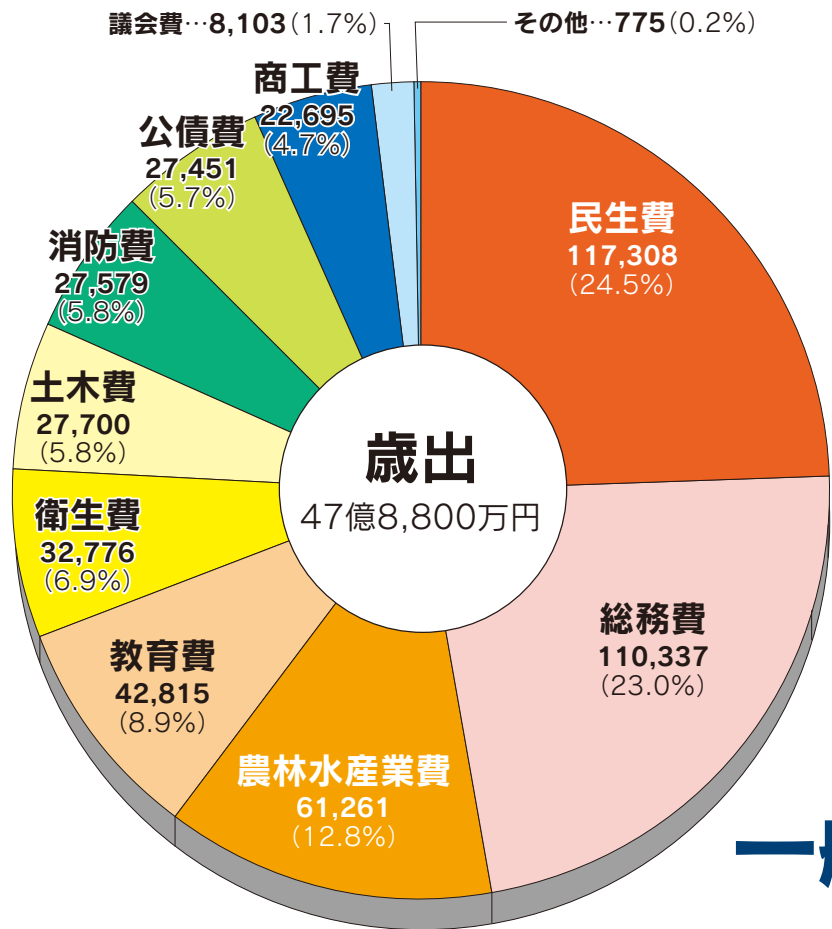
消防・防災施設整備の経費（消防団の運営など）。

#### 教育費

小中学校の管理費、講演会・各種スポーツ大会などの経費、給食費など。

#### 公債費

事業をするために借り入れた村債の元金・利息の返済金。



## 一般会

### ふるさと納税活用事業

#### 総務課

- ・ふるさと納税特産品返礼事業
- ・各区へ防犯カメラ配布
- ・入原住民センター建設補助

#### 企画課

- ・デマンドバス車両購入補助
- ・よしもとライブ費用等
- ・空家解体補助金等

#### 産業課

- ・獣害防止柵等設置事業補助
- ・道の駅管理運営事業

#### 保健福祉課

- ・福祉医療費（18歳までの医療費無料化）
- ・带状疱疹ワクチン助成
- ・保育園完全給食化補助

#### 建設課

- ・新築住宅への補助金
- ・住宅リフォームへの補助金

#### 教育委員会

- ・イーグルポイント受入事業
- ・よしもと漫才ワークショップ費用
- ・公民館ホール音響設備改修

# 3月定例会

今定例会は、3月7日から16日までの10日間の会期で開催され、令和5年度予算を含む計28件(承認1件、諮問1件、議案24件、発議1件、請願1件)の議案をいずれも原案のとおり可決。また、6人の議員が一般質問をし、村の姿勢を問いました。

## 人事

教育委員会委員の任命同意

長谷川誠氏の任命に同意。



(赤城原第1)

## 諮問

人権擁護委員の推薦

須田金吾氏を再任推薦することを承認。

## 条例改正

昭和三消防団に関する条例の一部改正

団員の資格要件を、村内に住所を有する者または村内の事業所等に勤務する者を追加。出動手当は1日につき4時間以上8千円、4時間未満は4千円。水火災、地震等の災害、捜索、遭難救助等の場合において支給する。



昭和三国民健康保険税条例の一部改正

出産育児一時金「40万8千円」を「48万8千円」支給に改正。

昭和三福祉医療費支給に関する条例の一部改正

子どもの支給対象年齢を「15歳」から「18歳」に引き上げる。



昭和三総合福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

入館料を村内・村外者を問わずに一律100円引き上げる。ただし、村内70歳以上の方と障害者手帳交付者等は、現行の200円。

昭和三小口資金融資促進条例の一部改正

借換えができる融資申込み期間について、「令和5年まで」を「令和6年」に延長。

昭和三特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

4月から各小学校に学校運営協議会が設置されることに伴い、新たに委員報酬が月額9千円、半月額4千500円となる。

## 補正予算

令和4年度一般会計補正予算(第7号)

8億7,586万3千円を増額

総額

69億1,898万9千円  
ふるさと納税の寄附の増額に伴う返礼事業の増及び寄附額の増額にあわせて緑の大地ふるさとしようわ基金への積立、学校建築基金への積立、道路維持管理費や除雪作業費の増、JA用地の買収費、昭和三灯油・

電力・ガス等の価格高騰緊急支援給付金の増額等。

令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

466万4千円を減額

総額

12億6,211万4千円  
出生数の減少の見込みによる出産育児一時金の減額等。

令和4年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

631万2千円を増額

総額

1億7,905万3千円  
消費税還付金の増額等。

令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

1,436万5千円の減額

総額

3億2,107万1千円  
戸別浄化槽設置工事費確定等の減額。

令和4年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

3,594万6千円の減額

**総額**

8億9,330万7千円  
介護福祉施設利用者減少に伴う減額。

**令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)**

**総額** 410万9千円の減額

9,333万2千円  
後期高齢者医療広域連合納付金等の減額。

**承認(専決処分)**

**令和4年度一般会計補正予算(第6号)**

**総額** 814万6千円を増額

60億4,312万6千円  
コロナワクチン接種事業委託、出産・子育て応援給付金に要する経費。

**その他**

**昭和村公の施設(道の駅あぐりーむ昭和)の指定管理者の指定**

道の駅あぐりーむ昭和の管理運営を、引き続き令和

8年3月31日まで、(株)あぐりーむ昭和にする事を可決。

**昭和村公の施設(昭和村農産物加工所「飛躍」)の指定管理者の指定**

昭和村農産物加工所「飛躍」の管理運営を、引き続き令和8年3月31日まで、昭和村さくら工房とする事を可決。

**昭和村役場新庁舎建設工事(第二期工事)請負契約の締結を可決**

旧庁舎の解体および多段式駐車場の整備  
**契約額** 2億130万円

**落札者**

沼田・石坂昭和村役場新庁舎建設工事(第二期工事)特定建設工事共同体。

**規約変更**

**群馬県市町村公平委員会共同設置規約の変更協議を可決**

群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議を可決。

**発議**

**昭和村議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定**

法改正により議員と村との請負が可能となったことを受け、請負の状況を公表し、透明性の確保を図る条例の制定。  
各会計年度において支払いを受ける対価の総額の上限は300万円。



庁舎



議場

提出された議案等と賛否一覧		佐藤好美	林栄一	倉沢つかさ	沢浦典子	林勝美	阿部孝司	林祐司	藤井貞充	林幸司	加藤生	永井一行	片柳悦夫
※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。													
第1回定例会（令和5年3月7日～16日）													
承認第1号	専決処分事項の承認を求めることについて 令和4年度昭和村一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	昭和村教育委員会委員の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	昭和村消防団に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	昭和村国民健康保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	昭和村福祉医療費支給に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	昭和村小口資金融資促進条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	昭和村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	昭和村公の施設（道の駅めぐりーむ昭和）の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	昭和村公の施設（昭和村農産物加工所「飛躍」）の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	群馬県市町村公平委員会共同設置規約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和4年度昭和村一般会計補正予算（第7号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和4年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	令和4年度昭和村簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	令和4年度昭和村農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	令和4年度昭和村介護保険特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	令和4年度昭和村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	令和5年度昭和村一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第18号	令和5年度昭和村国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	令和5年度昭和村簡易水道事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	令和5年度昭和村農業集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	令和5年度昭和村介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	令和5年度昭和村後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	昭和村総合福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	昭和村役場新庁舎建設工事（第二期工事）請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	昭和村議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## みなさんからの請願・陳情

自 令和4年12月23日 至 令和5年2月13日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
5	R5. 2.13	追分地区村道「新中道2号線」の道路舗装整備を求める陳情書	追分区長 星野 佳一	加藤 生	文教産建	採択

# 令和5年度 重点事業ピックアップ

## 福祉医療扶助費

7,413万円

子ども、重度心身障害者、母子家庭及び父子家庭等が保険診療を受けた場合の自己負担額を助成しています。今年度からは子どもの対象年齢が、15歳から18歳に引き上げられました。引き上げに伴う予算として、2,159万円が計上されています。

## ワクチン接種補助

本年度から新たにワクチン接種費用の助成を行います。

## 新規事業

帯状疱疹ワクチン（対象年齢：50歳以上、助成額：5,000円または10,000円×2回）  
ムンプスワクチン（おたふくかぜ）（対象年齢：1歳～2歳および年長児、助成額：7,000円）



## 不妊治療費助成事業

不妊治療費及び治療に付

随する費用が助成対象です。医療保険適用外の治療や県の助成事業との重複も可能です。

助成額は夫婦1組に対し1回15万円、通算8回までとなっています。

## 空家等対策事業

地域の実情に合った空き家対策を組織的に推進していくため、空き家対策協議会委員報酬や空き家等住宅状況調査業務委託等を計上しています。

「空き家解体補助金」は空き家の全てを解体、撤去し更地にする工事を行った場合、上限50万円が交付されます。※補助金を受けるには条件があります。事前に企画課と相談してください。



## よしもと協定事業

569万円

よしもと興業ホールディングス(株)との包括連携協定により、お笑いライブの開催、小中学生対象漫才ワークショップの開催、地産食材を使い特産品の開発に取り組む等、村の魅力を全国に発信。



## 消防ポンプ車購入事業

8,171万円

村民の大切な生命と財産を守るため消防車両3台を買い換えます。



## 中学生海外派遣事業

1,384万円

アメリカ姉妹都市、イギリスポイント市でのホームステイ体験事業を再開。6月に本村へ受け入れ、8月にイギリスポイント市に派遣事業を実施予定。



# 全員協議会

1月・2月・3月に開催した全員協議会での協議内容は以下のとおりです。

## 1月17日

### 新庁舎関係のスケジュール

1月末に完成。2月から机・器具・備品など搬入、3月25日落成式を行うと説明を受け協議する。新庁舎での業務開始は5月8日から。

### 昭和村役場処務規則

役場新庁舎での業務開始に伴い、課及び係を変更。これにより、課及び係が担当する業務も変わることから、改正後の処務規則の説明を受け協議する。

### 関屋工業団地内の村有地(売り渡し賃貸)について

藤森工業(株)から工業団地内の村有地の売り渡し等の打診を受け、価格・条件等の説明を受け協議する。

### J A久呂保支所跡地の購入

跡地を村で購入し、宅地

## 2月9日

### 最近の経済情勢について

S M B C日興証券(株)社員を招き、村の有利な資金運用も併せ勉強した。

### 小学校統合に向けた検討委員会報告

議会から検討委員会に出席している議員を代表して、文教産建常任委員長から報告を受けた。また、教育委員会事務局長から補足説明を受け協議する。

### イーグルポイント市表敬訪問

実施日程について、7月3日から7日までの5日間とすることを決定。

令和5年度予算(議会費)について、議会事務局長から説明を受け協議し、了解した。

## 2月27日

### 新庁舎の確認

机・器具・備品などの設置状況を確認する。

### 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用

原油価格・農業用資材等の高騰による支援事業や上下水道基本料免除などの事業を実施した。交付金充当額は1億1,846万2千円との説明を受け協議する。

### 地域開発(わんキャンCamp&Dog Run建設工事)

民間企業が松之木平地区にキャンプ場及びドッグランを建設するとの説明を受け協議する。

### 昭和村立小中学校児童生徒の遠距離等通学費補助規程の改正

バスの定期代個人負担分を3割負担から月千円に変更。

自転車通学者へ自転車ライト購入補助を新設。上限5千円(購入金額の8割補助)。

### 学校運営協議会(コミュニティ・スワール)の実施

保護者や地域の住民が一定の権限と責任を持って、

学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、より良い教育の実現に取り組む学校運営協議会を令和5年度から設置するとの説明を受け協議する。

## 3月14日

### 旬菜館の増改築

旬菜館の建物が手狭になり、増築改修するとの説明を受け協議する。

### 昭和村定住に伴う新築住宅建設補助金

令和6年度から、定住に伴う新築住宅補助金が倍増になるが、申請は住宅の引渡しを受けた月から1年内のため、令和5年度中の新築住宅も対象となるとの説明を受け協議する。

### 赤城西麓敷島地区

敷島地区およそ55軒の埋蔵文化財の発掘調査を行い、令和7年度の事業採択に向け、準備を進めているとの説明を受け協議する。

## 1月24日

### ICTの活用

議員のデジタルの活用推進するため、勉強会を開催した。

### V充電器を設置

急速充電器を新型に交換し、利用者の利便性を図るとの説明を受け協議する。

### 道の駅めぐりーむ昭和にE

出時5万円、出生届出時5万円(廻り適用あり)を支給する『出産、子育て応援交付金』を創設するとの説明を受け協議する。

### 出産子育て応援交付金の創設

全ての妊婦、子育て家庭が安心して出産、子育てができる環境整備を行うことが求められており、妊娠届



# 視 察・調 査・トピックス

## なべおさみ氏、 下村博文氏が来村

12月28日、  
農業や畜産業  
など一次産業  
をテーマとし  
た講演会と意  
見交換会が行  
われました。



## はたちの記念式典

1月8日、  
成人年齢の引  
き下げに伴い  
これまでの成  
人式から名称  
が変更され、  
今回が第一回  
目となりました。  
該当者83  
人中、出席者  
67人。



## 賀詞交歓会

1月9日、行政関係者や村内  
企業・各種団体の関係者を招い  
て開催されました。



## 群馬県町村議会議長会表彰

2月14日、永井  
一行副議長及び、  
藤井貞充議員は多  
年にわたり議会議  
員として、住民福  
祉の増進に貢献  
し、その功績が多  
大であったと群馬  
県町村議会議長会  
長より表彰を受け  
ました。



## 議員研修会

2月9日、群馬県  
町村議会議長会事務  
局 次長 河野哲  
也氏を招き「一般質  
問」・「議員定数」に  
ついてを講演してい  
ただきました。  
新しい発見もあ  
り、議員としての活  
動の大切さを改めて  
教えてもらった研修  
会でした。



# 総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

## 新年度予算案をさらに調査

3月10日に総務民生常任委員会を開催し、村長をはじめ担当課長及び係長に対し質問、協議、提案をした。

### 協議

〔新生児と保育園の現状及び地域子育て支援センターの事業〕

**問** 令和3年度と4年度の新生児数と保育園児数について。

**答** 誕生祝い金支給新生児数は令和3年度33人、4年度3月10日現在26人。第1保育園児数97人、第2保育園児数34人。

### 提案

少子化対策をさらに進めるよう求める。

**問** 使用済おむつを保育園で処理した場合の効果は。

**答** おむつは0歳児から2歳児が使用。廃棄数が多いが、仕分けは保育士が行い、保護者が持ち帰りをしている。

提案  
保護者の負担軽減の観点から保育園での処理の検討を望む。

**問** 送迎バスの置き去り防止装置設置状況は。

**答** 第2保育園のバスで設置を検討中。

### 提案

本村ではくれぐれも事故がおきないように対策を望む。

**問** 会計年度職員の段階的な正職員化を求む。

**答** 職員の都合も考慮していく必要がある。

**問** 地域子育て支援センターの事業内容は。

**答** 第1保育園と子育て保育園に設置。子育て親子の交流事業を予約制で実施している。

〔新規事業带状疱疹ワクチン助成〕

**問** 带状疱疹ワクチンの助成額および対象者は。

**答** 生ワクチン5千円または、接種ワクチン1回1万円。対象は50歳以上。

〔移動販売車の周知について〕

**問** 村で推進する移動販売車事業を回覧等で周知してほしい。

**答** 今後、周知していきたい。

〔昭和の湯〕

**問** 昭和の湯のお湯の張り替え状況および利用状況等。

**答** 1日おきにお湯を張り替えている。レジオネラ菌検査は保健所で実施。

利用者はスキー客や家族連れが多い。周知はホームページやパンフレット、スキー場に割引券を置く等。また、館内には子ども専用ブース、図書、ファミコン等を設置し利用促進を図っている。

〔吉本興業包括連携事業〕

**問** お笑いライブ開催は何回予定しているか。

**答** 半年に一度、年2回開催の予定。

〔消防ポンプ車・操法大会〕

**問** 消防ポンプ車導入の内容と、旧ポンプ車の活用方法は。また、消防ポンプ操法大会の予定は。

**答** 新規消防ポンプ車3台導入予定(マニュアル車)。旧ポンプ車はオークションでの対応予定。消防ポンプ操法大会の全国大会はあるものの、コロナウイルスの関係で訓練をすることが非常に厳しい状況のため利根沼田の大会は中止。



# 文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

## 請願書を審査 1件を採択

3月13日に文教産建常任委員会を開催し、請願箇所について現地調査を行ない審査した。

### 審査

追分地区村道「新中道2号線」の道路舗装整備を求める請願を採択

追分区長から地区内の村道「新中道2号線」の生活道路の一部区間(約70m)が未



舗装である。春先は凍結した路面が解けてぬかり、車の往来に支障をきたしている。夏場は砂埃が立ち、不衛生な状態になることなどの説明を受けた。これらを踏まえ、慎重に審議した結果、全会一致で採択すべきものとした。事業実施に当たっては、赤城北ろく事業との整合性を図りつつ進めていただきたい旨の意見を付した。

### 所管事務調査

令和5年度の予算等について、所管する各課に対して質疑応答をした。主な内容は次のとおり。

#### 〔産業課〕

#### 問

昭和村も各団体を超えて、若者たちが集まれる組織づくりをし、なんでも相談・情報交換が出来るようにならないか？

#### 答

コロナ禍で、集まりが出来なかった。他の業種とマッチングするのは良いこと。農家の方も商工会に入り活動している人もいる。人と人が交流する環境づくりも行政の役割と考えている。



#### 問

資源ごみ回収2か月に一回を、毎月回収出来ないか？

#### 答

現在36団体で資源ごみ回収をしている。地区から村産業課へ申し出れば対応は可能。毎月回収をしている団体もある。



#### 問

燃やせる物は黄色いゴミ袋に入れて出すべきだが、多量の剪定枝などは村全体で出す日を決め、出す場所を作れないか？

#### 答

今のところ難しい。沼田市外二か村の清掃施設に出して欲しい。10kg200円で対応が可能。平日ならば午前9時から午後4時まで搬入が出来る。

#### 問

道の駅管理事業の整備計画は。

#### 答

調査・検討し、議会と協議のうえ、皆と相談して対応していきたい。



加藤 生 議員

## 道路整備について

### 村長 緊急性、危険性、公共性を考慮し実施



追分地区村道 新中道2号線

**問** 請願・陳情未実施路線は何路線あるのか。今後の取り組み線はどのように考えているのか。

毎日使う道路だけでも、自宅から舗装道路につながっている等、住民に寄り添った道路行政を望みます。

**答** 村長

過去5年間で18件の請願・陳情があり、うち11件が実施。未実施路線は7件で、3件は令和5年度実施予定です。

今後は村全体を見た中で緊急性、危険性、公共性を考慮しながら補助事業や交付金事業を活用し、順次道路整備を実施していきます。

## 学校給食の無料化は？

### 村長 段階的な対応含め検討

**問** 児童・生徒の給食費を所得制限なく無料にするなど、子育て支援を手厚くしていただきたい。

**答** 教育長

給食費について4年度は6か月間無料化していただきました。村の施策である子育て支援は財政状況等に起因するため、よく相談していきます。

**答** 村長

利根沼田地域では川場村が本村同様、6か月間給食費無料を実施した。令和5年度では沼田市をはじめ、他市町村でも子育て支援として一部無料など支援策を講じる情報もあります。

本村では児童・生徒が通う学校設備の更新や、学習活動等、多方面から教育環境の整備を図っています。



昭和中学校 給食の様子



佐藤 好美 議員

## 定住化促進のための村有地等の宅地分譲地への積極的な推進・整備

村長 村有地・民有地の活用検討、若者・移住者定住の促進



村人口減少対策プロジェクトチームを設立、分譲地としてJ A久呂保支所跡地を購入予定。今後、村有地や民有地の活用を検討し、若者・移住者等定住の促進を図ります。

### 答 村長

**問** 村有地や民間用地等を若者・移住・起業希望者定住のため、宅地分譲地を積極的に推進・整備してください。村有地の収蔵庫北側、旧給食センターや旧南小学校跡地、昭和の森山荘周辺遊休農地の有効活用、潜在する民間用地等実態を調査し、計画的に宅地分譲の促進・整備をお願いします。

**問** 選手集め等改革を含め、皆が楽しめるよう友好都市や吉本興業、企画会社活用などのスポーツの祭典を望みます。

### 村長 地域負担配慮 教育長 キッチンカー導入

### 答 村長・教育長

選手集め等改革を含め、皆が楽しめるよう友好都市や吉本興業、企画会社活用などのスポーツの祭典を望みます。キッチンカーの導入や景品等を見直し、皆様が楽しめる運動会にしたい。また、選手集め等は各地区の負担を考慮し、区長、スポーツ推進委員を中心に協議し、競技内容を検討します。

### 村民運動会について

**問** 県の主要施策での推進を行っています。村でも旬菜館での有機農産物コーナー設置や学校給食への提供等、有機農業の推進を望みます。

### 答 村長

有機農業はハードルが高く、国や県の補助事業活用を含め、旬菜館への有機農産物コーナー設置や学校給食提供等も併せて検討します。



### 村長 有機農産物コーナーの設置や学校給食提供を検討

### 環境に優しい有機農業推進

**問** マイナンバーカードを活用したオンライン申請やコンビニでの各種証明書取得、電子通貨制度の導入をお願いします。

### 答 村長

利便性や安全性を周知。オンライン化も考える。コンビニ納付は、徴収率の向上にも繋がるため導入を検討します。

### 村長 普及と利便性・安全性を周知

### デジタル行政化サービスの向上



出張支援の様子

# 猟友会の担い手を増やすための支援は



沢浦 典子 議員

議長 狩猟に関する情報発信をしていきたい



**問**

農産物を荒らす野生動物が増え、

年々猟友会を頼りにする頻度は増すばかりである。会員の減少と高齢化が進み、今必要としているのは、新しい会員の確保ではないのか。支援として新規の狩猟免許取得者に補助金の交付はできないのか。

**答** 村長

現在、有効な手立てがない状況。このままでは近い将来、有害鳥獣駆除の実施に影響が出る可能性がある。今後は、狩猟の役割を社会的に認知してもらえよう情報発信をするとともに、狩猟免許取得者に対する補助金については交付している自治体を参考にして調査・研究を行っていく。

日本で最も美しい村に

村長 住民の自主的な取り組みを支援していく

**問**

日本で最も美しい村を宣言することは、私たちの村に誇りを持ち、地域の活性化と自立を住民自らの手で推進すること、また形成されてきた景観、環境、そして伝統文化を守っていくことを目的としている。

これからも美しい村でありつづけるために何が必要か。各行政区の道路愛護や多面的事業に頼るのは負担が大きいのでは。

また、コロナ禍で活動できなかった神輿等の伝統文化を守っていくのも困難の状況。村で助けることはできないのか。

**答** 村長

加盟後2度の審査があり、高い評価をいただいた。美化活動としては道

路愛護や各種団体により花植えやごみ拾いなどをしてもらっている。そして今後、伝統文化やお祭りなどを絶やすことなく引き継いでいくためには、地域コミュニティの維持とともに、後継者の確保や育成のための取り組みが重要。

今後も村の景観活動を遵守するとともに、美しい村づくりのために、住民の自主的な取り組みを支援していきたい。





林 栄一 議員

## 昭和村誌編纂の実現について

### 村長 編纂の重要性は認識をしている

#### 問

利根沼田地域には、特色ある村史(誌)が編纂をされ、後世に伝えていますが、なぜ昭和村誌は出来ないのでしょうか。

村誌は、村の歴史的な記録の集大成と考えます。村誌編纂の現状と認識について伺います。昭和村が歩んできた合併七〇周年に向けて「昭和村誌」編纂に着手する考えはありますか。

令和5年度中に調査費を計上し、人材が揃う今なら編纂は可能です。過去に発行の村誌久呂保・糸之瀬村誌・赤城根村誌と、その後の足跡状況を一冊にまとめた「昭和村誌」を編纂して欲しい。ふるさと納税の一部を活用して、是非とも「昭和村誌編纂の実現」に向けた見解を伺いたい。

#### 答 村長

村誌の編纂・発行は、村民皆さんに、郷土に対する理解を深め、村内に

#### 答 教育長

沼田市史をはじめ川場村や片品村でも村誌制作をしていました。平成14年度に合併50周年に向け

村史編纂準備委員会を発足。「誰からも親しまれ、目で見て分かりやすい写真集を作る」意見で「昭和村のあゆみ」を発行した経緯があります。村誌は、50周年記念誌で作成したと解釈しています。

### ゴミの不法投棄を無くす方策は

#### 村長 警察署など関係機関と連携し対応

日本でも美しい村連合に加盟している中で、山林などにゴミの不法投棄が散見される。ゴミ投棄を無くす方策と、早期に回収する対応を、どのように考えるか伺いたい。

#### 答 村長

不法投棄を無くすには、担当職員によるパト

ロールや看板設置。「ぐんま緑の県民税」を活用し、山林や竹林の伐採で環境を良くし、被害防止に繋げたい。不法投棄した者が不明な場合は、土地所有者が処分することが基本であり、具体的な方法がありません。不法投棄が繰り返される場合は、警察署など関係機関と連携し対応したい。



過去の村史編纂準備委員会で、検討頂いた答を尊重したい。時間をかけて編纂の準備をしてゆく方向と考えます。



林 勝美 議員

# 農家への今後のサポートは？

## 村長 必要に応じて対応する

**問**

基幹産業の農業を取り巻く状況は非常に厳しい中、嘆きの声が聞こえています。農業経営を持続できるような施策をお願いします。

**答**  
村長

「農業用資材等価格高騰対策事業」は、今後必要に応じて検討します。また国や県等へ支援を要望し、関係機関と連携して対応します。

**問**

「みどりの食料システム戦略緊急対策事業」を国で推奨しているが、どのように認識していますか？

**答**  
村長

この事業の内容等々については確認しております。様々な補助事業には必ず制限があります。村としては皆さんが利用しやすいような取り組みが出来るよう活用していきます。

## 避難所は地震に対して安全か？

### 村長 耐震基準で建設されているので安全

**問**

世界中で大地震が頻発しています。日本でも大きな地震により、甚大な被害が発生しました。

**答**  
村長

村でも地震に対する備えを加速しなければなりません。  
①避難所に指定されている住民センター等の建物は耐震診断されていますか？

②民家への耐震診断を推進する必要があると思いますが、どのように考えていますか？

**答**  
村長

①村内15の指定避難所は、いずれも新たな耐震基準で建設されたものである。現在では安全と考えます。

②旧耐震基準により着工された木造住宅に対しては耐震診断者の派遣事業を実施し、耐震改修については、住宅リフォーム補助金を利用してください。

首都直下型地震や南海トラフ地震などが指摘されている中、村民の生命・財産等を守るため取り組みを進めます。

## マイナンバーカードについて

### 村長 補助金について説明

**問**

本村におけるマイナンバーカードの取得率は現在どのくらいでしょうか？

**答**  
村長

現在累計3,271枚交付しており、52.9%でございます。

**問**

取得率によって国から交付される補助金はどのようなものですか？

**答**  
村長

交付率に応じて「地域デジタル社会推進費」が算定され交付されます。

**提案** 村民が大変な思いをして取得したマイナンバーカードの活用方法を検討して、村民サービスをさらに推進して頂きたい。





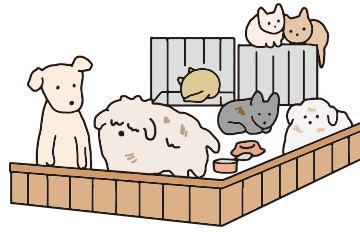


林 幸司 議員

## 動物愛護・多頭飼育崩壊・地域犬猫対策を

村長 補助制度については調査、検討していきたい

**問** 犬や猫の多頭飼育崩壊をふせぐ動物愛護法に基づく条例制定と、県内23市町村と同様な避妊去勢手術費への補助制度を求めるとともに、苦情件数、啓発について伺います。



**答** 村長

狂犬病予防法により登録と予防接種を行っており、条例と補助制度については調査、検討していきたい。

猫の苦情は、元年度10件、2年度19件、3年度6件。猫の引取は、元年度2匹、2年度5匹、3年度0匹です。  
ひき続き、適正飼育を周知していきたい。

## 自転車の事故防止対策を

村長 安全向上に努めてまいりたい

**問** 人口1万人当たり事故件数で群馬県が7年連続全国最多という状況。本村の現状と対策、学校での対応、外国人実習生への安全講習などの対応について伺います。

**答** 村長

村内でも、実習生を含め5年間で8件の事故が発生。ヘルメット着用など周知を図り、安全向上に努めてまいります。

実習生への安全講習は受け入れ事業所等に管理責任があり、お願いしていきたい。

**答** 教育長

小学校3年生以上と中学校1年生を対象に交通安全講習を毎年実施。保険加入を確認して自転車通学を許可しており、全員ヘルメットを着用して通学しています。

## 小中4校の統廃合ゴリ押しは許されない

教育長 方向性を検討委員会と共に決定していきたい

**問** 児童334人に対して、仮に1校だったら教員数は。交付税の減額は。4校一校ありきではなく、公平な判断材料を提供し、時間をかけて議論を継続すべきです。

**答** 教育長

小学校3校で、直接指導する先生は26名、1校に統合すると16名になると想定されます。

小さな村では、学校がひとつになれば、通学距離の問題はあるものの、村内どこに住んでも同じ教育を受けられる環境ができると思います。

**答** 村長

小学校が1校になると普通交付税が5年間で段階的に2,300万円ほど減額が予想されます。



# 村内企業 の 声



工場の全景



代表取締役社長  
橋元 健

## 会社紹介

## キヤノン電子株式会社 赤城事業所

### 「工場の操業」現在

キヤノン電子赤城事業所は、昭和村の景観に合わせ、「森の中の工場」をコンセプトに建設され、1999年4月に操業を開始しました。昭和村の昭和関屋工場団地に工場を建設することとなった決め手は、1998年の昭和インターチェンジ開通により、自社他事業所や関東圏の取引先から比較的近いこともあり、交通の利便性を考慮したこと、昔懐かしい日本の原風景が広がる自然豊かな土地であり、風光明媚な景観という恵まれた環境に大きな魅力を感じたことが決め手です。



敷地外周の桜並木

工場立ち上げ時には、昭和村役場の方々を中心に、地域住民の皆様と繋げていただき、多岐に渡りお力添えをいただきました。おかげさまで、現在、従業員数は、約260名で、地元昭和村をはじめとした利根沼田地区、それに近郊の吾妻地区、中部地区の明るく元気な若手社員が多数在籍し、風通しの良い雰囲気、工場を盛り上げてくれています。昭和村の昭和関屋工場団地に工場を建設し24年が経ちますが、すでに1期生は40歳代になり、上州名物のからっ風に鍛えられ、工場の中核を担う人材となって運営を支えてくれています。

### 【主な製品】

レーザービームプリンターはカラー機、モノクロ機の生産を行っています。

また、キヤノン電子の自主事業として「albos Light & Speaker」を生産しています。心地よいサウンドと光により日常から切り離されたパーソナルな空間を演出するスポットライト型のワイヤレススピーカーです。キヤノン電子が新しく展開するブランド「albos（アルボス）」は、「人が幸せに感じる快適な空間創り」をコンセプトに

掲げ製品づくりを進めています。今後も人々の暮らしに寄り添う新体験・価値を提供してまいります。また、昭和村のふるさと納税の返礼品にはキヤノン電子のいくつかの製品を取り扱っていただいています。プリンターなどの事務機その他、デザイン家電の扇風機、albos Light & Speakerも加えていただきました。ふるさと納税を通して、昭和村とキヤノン電子の繋がりをさらに深めていけたらと思っています。



レーザービームプリンター



albos Light & Speaker

また、既存のモノづくり体制を背景に、新たなチャレンジとして宇宙ビジネスに進出しました。2017年6月に当社製の超小型人工衛星「CE-SAT-I(シーイー・サット・ワン)」の打上げに成功し、運用を開始しました。その後、2020年10月に「CE-SAT-II B(シーイー・サット・ツービー)」の打上げに成功し、運用しております。「CE-SAT-II B」は超高度カメラが搭載されており、夜間月明かりでも撮影できるなどの特徴をもっています。地上や天体の高精細画像を日々撮影しており、撮影した画像は工業団地内に設置したパラボラアンテナで受信しています。そのほかにも、医療分野や植物工場の自動化支援といった農業分野など、様々な成長分野に参入しています。



パラボラアンテナと人工衛星

**【緑化への取り組み(ついで)】**  
赤城事業所では自然との共生をテーマに工場緑化に取り組んでいます。操業当初から植栽のご指導をいただいている昭和村民の方や昭和村シルバー人材センターの皆様にご協力いただきながら、サクラ、サツキ、サザンカ、モミジなど約60種15,000本の植樹された緑地を定期的に整備しています。



植物工場



衛星写真(ドバイ)

その結果、周辺環境と調和した景観が評価され、2021年に「緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。道路に面した約600メートルの外周に昭和村の木であるサクラが約1,000本植栽され来訪者の安らぎと癒しになっています。また、敷地内に昭和村特産のリンゴの木が植栽され、収穫の際には、社員食堂や来訪者へ提供しています。なお、環境への取り組みとしては、社員参加による工場周辺の清掃活動等の取組を行っているほか、昭和村の大きなイベントであるウインターフエスティバルの花火、河岸段丘ハーフマラソン等への積極的参加、地元小中学校を対象とした工場見学や就業体験の実施により企業の環境への取り組みと工場緑化の紹介による環境教育への寄与といった地域貢献活動を行っています。



河岸段丘ハーフマラソン大会  
(橋元社長以下社員が多数参加)

敷地内には温泉もあり、環境対応の一環として冬の空調(暖房)用に活用し電力量の削減(CO2削減)に寄与しておりますが、余った温泉は事業所内の研修施設にも使っております。また、事業所の向かいにあります「道の駅あぐりーむ昭和」の足湯としてもご利用いただいています。

**【キヤノン電子赤城事業所の今後の展開】**

従来通りの事務機(プリンター)、EMS(電子機器の受託生産)製品の生産継続の上に、新規事業となったadpos等の自社開発のデザイン家電、植物工場の自動機開発・製造の存続・拡大を続けて参ります。そして地元利根沼田地区の雇用を守り、昭和村と共に発展を続けていきたいと思っております。今後ともキヤノン電子赤城事業所をどうぞよろしく願います。



# 地域でがんばる人



## 昭和元三大師節分会（鬼法楽）を始めマ

遍照寺住職 榎本 最紳 さん



(森下上組)

右も左も知らない土地のお寺に入り、住職不在期間が長い事もあり、お寺に人

が来ない。さてどうしたものか？どなたでも気軽ににお参りが出来るお寺を目指し、ずっと脳裏に描いていた節分行事を檀信徒やお手伝い頂ける方々に無理を言いまして、平成24年に始め本年度第12回になりました。

以前11年間京都の廬山寺節分会にお手伝いに行かせて頂いていたご縁で伝統行事、鬼法楽を許可して頂きました。一からのスタートで準備



に大変時間がかかり、鬼の衣装や持ち物等は概ね自らの手作りで、関東唯一の鬼踊りです。

本尊は慈恵大師良源で疫病退散に厄災を払い、おみくじを日本に最初に広めた方でもあります。昭和村を知って頂けりきつかけになれるようにこれからも精進してまいります。

### 議会を傍聴してみませんか



昭和村議会では、村民のみなさんの生活に直結した、重要な問題などを審議しています。

次回の定例会は、6月に新議場で予定しております。

是非、傍聴してみてください。お待ちしております。お問い合わせは議会事務局まで  
(☎24-5111)



### 編集室から

マスクなしでの小中学校の卒業式。卒業証書を手にした姿は、とても晴やかでした。

大谷選手等の活躍で優勝したWBC。手に汗握る大逆転劇や、米国打線の反撃を断ち、全員野球の勝利は凄い。選手を信じた采配も見事でした。

さて、3月16日は、現議場で最後の定例会。新庁舎の移行に伴い、1970年から村政の方向を決めてきた議場は、歴史の重みがありました。

今後も議会活動が身近に感じられるように、編集内容も工夫します。皆様のご協力を頂きながら、読まれる紙面づくりに努めて参ります。

林 栄一 記

#### 議会広報編集特別委員会

委員長 倉沢つかさ

副委員長 林 栄一

委員

藤井 貞充 沢浦 典子

佐藤 好美 永井 一行

片柳 悦夫